

令和6年度 校長始業式挨拶

おはようございます。そして進級、おめでとうございます。今年度から坂本中学校の校長として赴任した氷室武志といたします。よろしくお願いします。

これを見てください。「私たちはたくさんの『〇〇〇』をもっている、どんな言葉が入ると思いますか？」

これです。『可能性』です。みなさん一人一人は大きな可能性を秘めています。その可能性を高めていく素晴らしい1年になることを願い、みなさんに期待すること2つ、知っておいてほしいことを1つ話します。

期待することの1つ目は、『姿で示す』ということです。

今、みなさんはどんな思いをもっていますか？「新しい学年でこんなことを頑張るぞ」と期待を膨らませている人もいると思います。「〇〇が心配だなあ」「〇〇さんと同じクラスがよかった」「担任は〇〇先生がよかったなあ」と思っている人もいるかもしれません。色々な思いはあって当然ですが、ここから頑張るのは自分です。いつまでもマイナス的な思いをもっていては自分の可能性も閉ざされてしまいます。

まずは、新しい自分づくりを『姿で示す』ことです。みなさんの中には、早速、姿で示そうとした坂中생がいます。それは、今朝、初めて出会う私に「おはようございます」とさわやかに挨拶してくれた生徒が何人もいたことです。照れもあったでしょう。誰だろう？とも思ったかもしれません。でもその心を打ち消し、『姿で示す』坂中生の姿から、新しい自分づくりの決意が感じられました。『姿で示す』あなたなら、可能性を必ず高めていけます。

私は、明日の入学式で、新1年生120名に「先輩の姿から学びなさい。先輩の姿を真似しなさい。」ということ話を話します。先輩として手本となる生活の姿、学習の姿をぜひ示しながら、自分自身の可能性を高めていく坂中생であり続けることを期待します。

期待することの2つ目は『今、するとよいことを判断する』ということです。

今、目を離さずに話を聞いている人。今朝、新しい教室で自主的に教室の窓を開けたり、トイレの履き物をそろえたりしてくれた人もいるでしょう。明日、入学式の会場を準備してくれる君たちもそうです。

「今、するとよいことを判断し」、仲間のために、周りの人のために動けることってすごく値打ちあることだと考えます。「今、するとよいことは何か」と少し立ち止まって考えられる自分になってください。そのことが積み重なり、坂中생としての誇りになっていくことを期待します。

最後に知っておいてほしいことです。先生たちは、『姿で示す』あなたたちを、『今、するとよいことを判断する』君たちを、全力で応援し、協力します。だから、つらいことや苦しいことに出会ってしまった時には、躊躇せず、どの先生でもよいので相談し、打ち明けてください。あなたの心に寄り添い、心から支えます。

一方、人として生きていくうえで好ましくない行動を取ったり、人の体や心に傷をつけた時には、厳しく指導します。あなたの可能性を閉ざしたくないからです。

わたしたちはたくさんの可能性をもっています。

自分のもっている可能性に向かい、『姿で示す』こと、『今、するとよいことを判断する』ことを意識しながら、大切な1年を力強く歩んでいくことを期待し、私の始業式の言葉とします。がんばりましょう。